

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約1.2 億円
		通常砂防事業 たるみに 垂水谷川		内用地補償費	約0.1 億円
所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
篠山市 たるみ 垂水			17年度	17年度	19年度
事業目的			事業内容		
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産及び(一)瀬利小田中線、市道、災害時の指定避難所である垂水公民館を保全する。			・砂防えん堤工 1基 (H = 9.0m, L = 50.0m) [負担割合 国 : 1 / 2、県 : 1 / 2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 安全・安心	・垂水谷川は土石流危険渓流である。 ・渓流の浸食が進み流域内も荒廃しているが、砂防設備は未整備である。 ・保全対象: 人家 = 16戸、公共施設 = (一)瀬利小田中線、市道、垂水公民館(避難所)、田畑 = 1.88ha				
地域の活性化	・砂防えん堤工事により、土砂災害の危険性が軽減され、(一)瀬利小田中線を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。				
快適性・ゆとり	・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、下流域の住民に安全で快適な生活空間を提供する。				
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。				
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家16戸)、(一)瀬利小田中線、市道及び災害時の指定避難所である垂水公民館が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。				
効率性	・地元からの要望が強く、市等の協力体制が整っていることから、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には、人家16戸、(一)瀬利小田中線、市道及び災害時の指定避難所である垂水公民館がある。 ・流域状況は急峻な地形と相まって荒廃が進み、土砂流出の危険性が高く、垂水地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。				